

§2 区政への参画

このコーナーでは、区民のみなさんに区政へ参画していただいている取組を紹介します。

1. 放置自転車対策協議会

放置自転車は、歩行の妨げだけではなく、緊急車両の通行の支障や、目の不自由な方、車いす利用の方が安心して通行できない状況を引き起こします。

そこで、淀川区では区内の4つのエリアで、地域住民の方々・鉄道事業者・行政機関が一丸となった「放置自転車対策協議会」を立ち上げ、放置自転車を生み出す要因を調



査・分析し、地域実情に合わせた活動を展開しています。安全で快適な生活環境を実現するため、自転車を利用されるみなさんのご理解とご協力をお願いします。

《各協議会での対応事例の紹介》

【新大阪・西中島周辺】

駐輪場の利用料金を1時間以内無料や1回100円とする等の工夫を行い、放置自転車の削減に向けて取り組んでいます。

【十三駅周辺】

毎月13日の「十三クリーンデー」での啓発活動や午前・午後のランダムな自転車撤去に向けた商店街との連携強化に取り組んでいます。

【三国駅周辺】

地元小学生の児童絵画作品を駅周辺に展示し、地域ぐるみでマナーアップも呼びかけています。

【塚本駅周辺】

企業・商店街との連携に力を入れ、銀行前歩道やロータリーへのカラーコーン設置、商店街の意識調査・啓発協力を目的としたアンケート実施など短期対策と長期対策を織り交ぜた取組を進めています。



2. 区政を身近に感じてみませんか？十三地域車座会議

「第6回淀川区長と車座会議」は、1月15日（水）午後7時30分から、十三福祉会館で行われました。今回は、17名のみなさんから意見をお聴きしました。

話に拳がったテーマは多岐にわたりました。特に、地域活動協議会や学校適正配置、十三駅前の不法駐輪は、ほぼ全ての参加者が



関心を持っておられるテーマであるだけに、時間を割いて意見が交わされました。他には、もと淀川区役所跡地の開発や、区のお取組みの情報発信のあり方など、区民のみなさんのより一層の区政参画に向けての意見が目立ちました。

2月から未開催の地域で車座会議を精力的に開催していきます。より良い淀川区を作っていくために、みなさんの参加をお待ちしています！